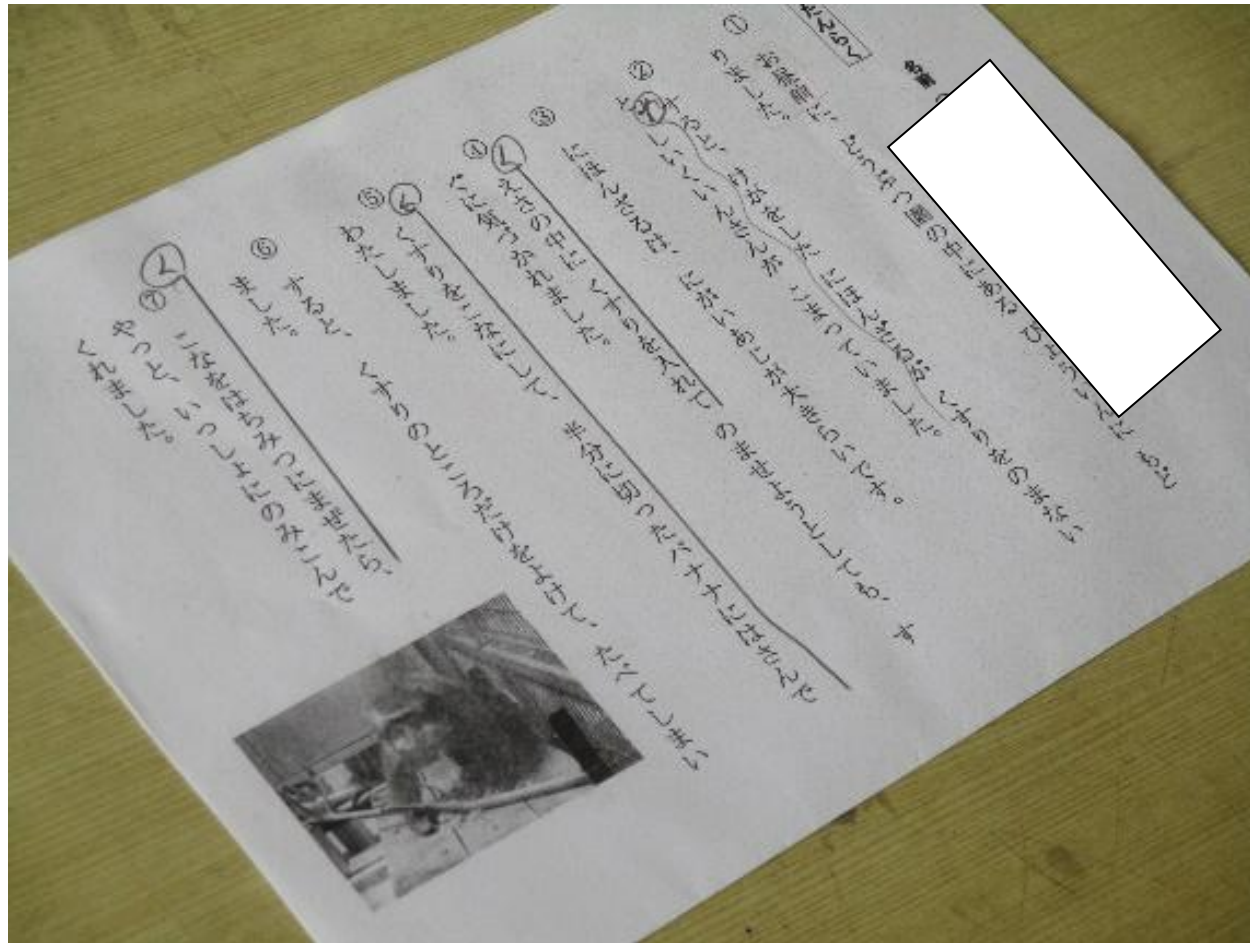


1 年生 ③参加の促進「共有化」



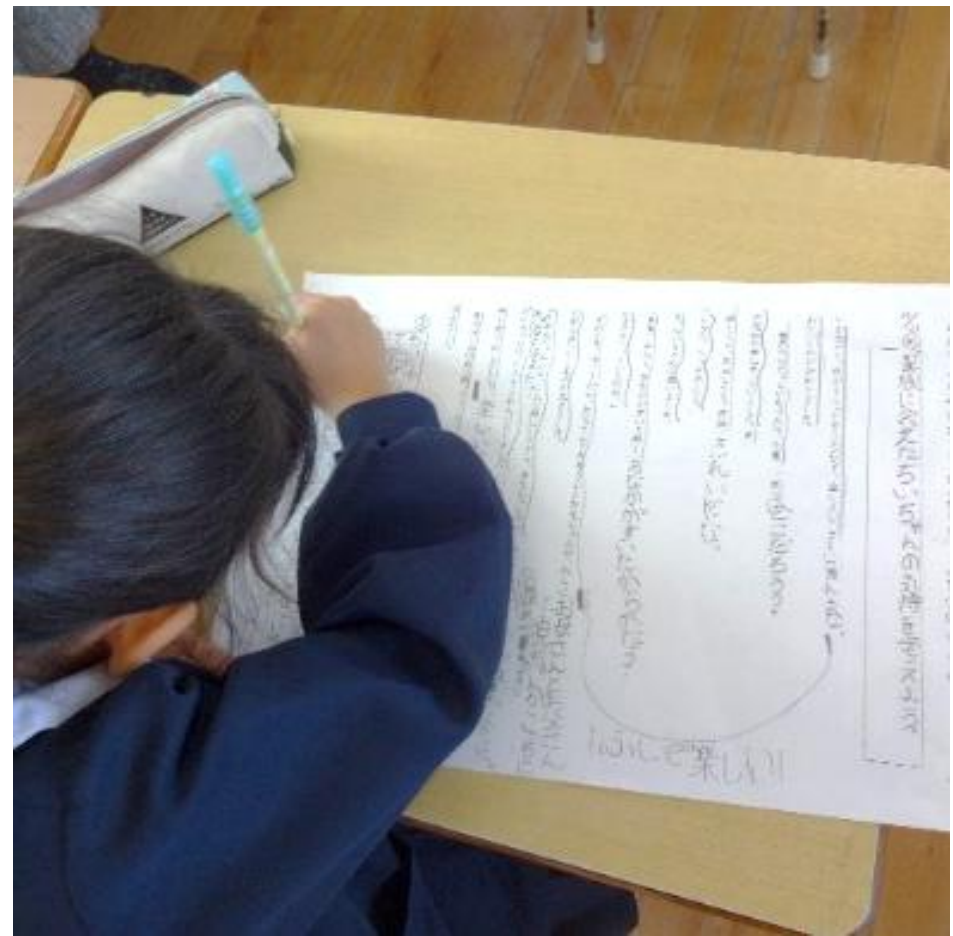
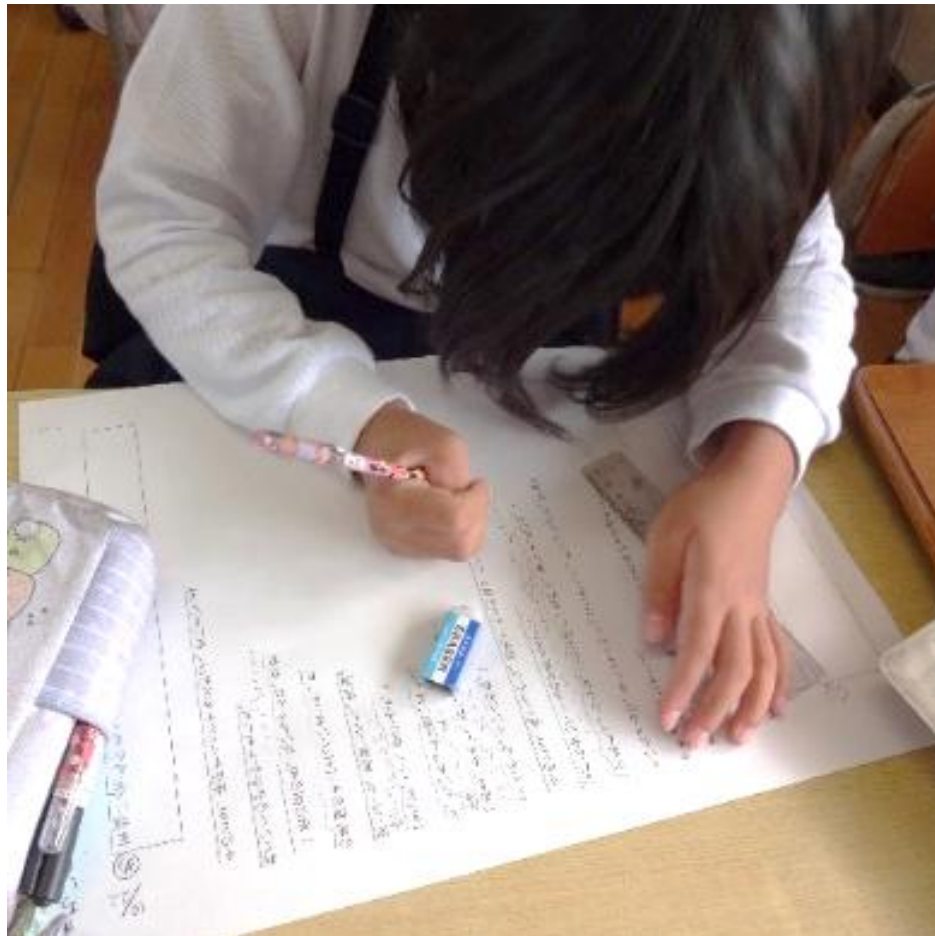
【海の生き物の名前は黒色，かくれている場所を赤色で囲んだり，生き物の隠れ方の秘密だと思ったところにシールを貼って思ったことを書いたりするなど，自分の考えを書く活動を行った。書くことが苦手な児童もシールをどこに貼るか考えることで，自分の考えをもつことができた。児童がシールを貼ったところや書き込みをしたところを児童と同じワークシートを拡大したものに板書し，全体で共有できるようにした。】

2年生 ②伝達方法の工夫「視覚化」



【時間に赤丸，訳に波線，工夫に実線を引いた。さらに，訳には「わ」工夫には「く」と書き込むことでより分かりやすく，ペア学習の時の手助けとなった。】

3年生 ②伝達方法の工夫「視覚化」



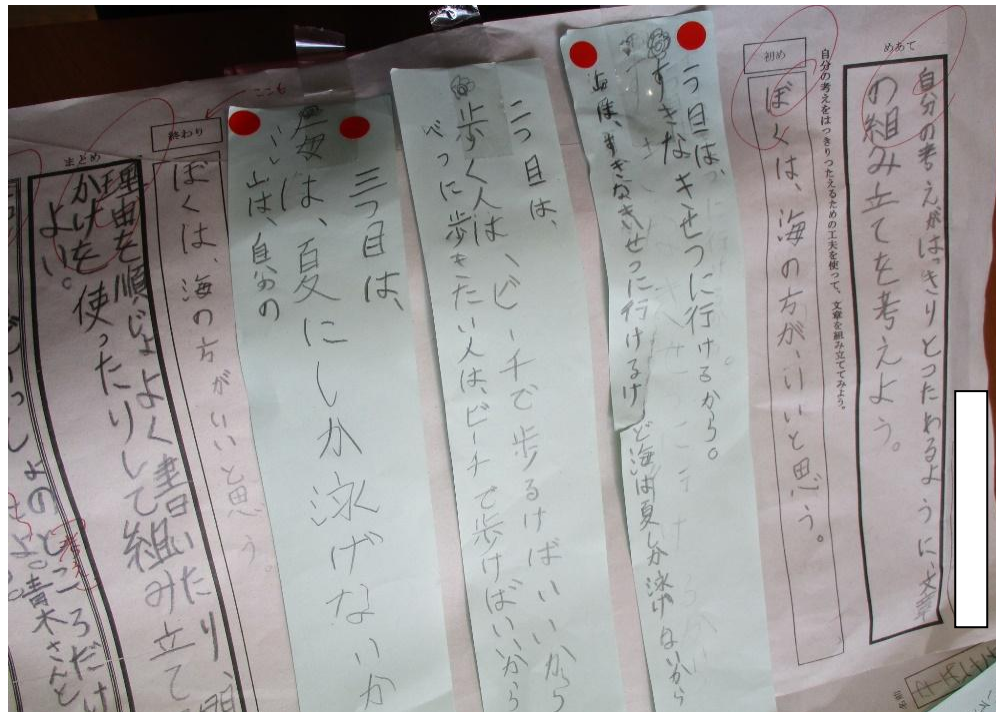
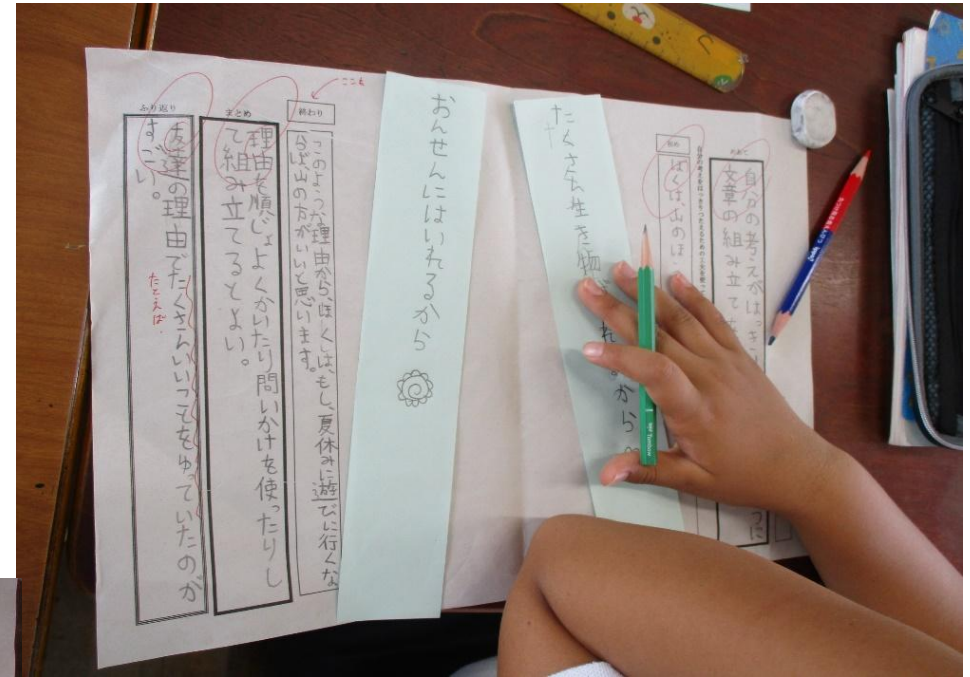
【ちいちゃんの気持ちが分かる部分に波線，情景が読み取れる部分に棒線を引き，読み取った気持ちを書き込んでいく活動を行った。単元の最初は自力で取り組むことが難しかった児童が多かったが，時数を経ていくと，しっかりと書き込むことができるようになってきた。】

4年生

③参加の促進「共有化」

【意見文の中の部分・・・理由を述べる文章を短冊に書くことで、長文を書くことが苦手な児童も気軽に多くの理由の文章を書いたり直したりすることができた。

短冊に書くことで、最終的に文に書く理由を精選する時も役立った。また、友達と自由に意見交換をし、納得がいく・効果的と思った短冊にシールを貼り合った。そのことで自分の書いた理由に自信をもつことができた児童が多かった。また、どう書けば読み手が共感するのかを真剣に考え、友達の書きぶりを参考にして共有化することができた。】



5年生 ②伝達方法の工夫「視覚化」④授業内容の構造化「焦点化」



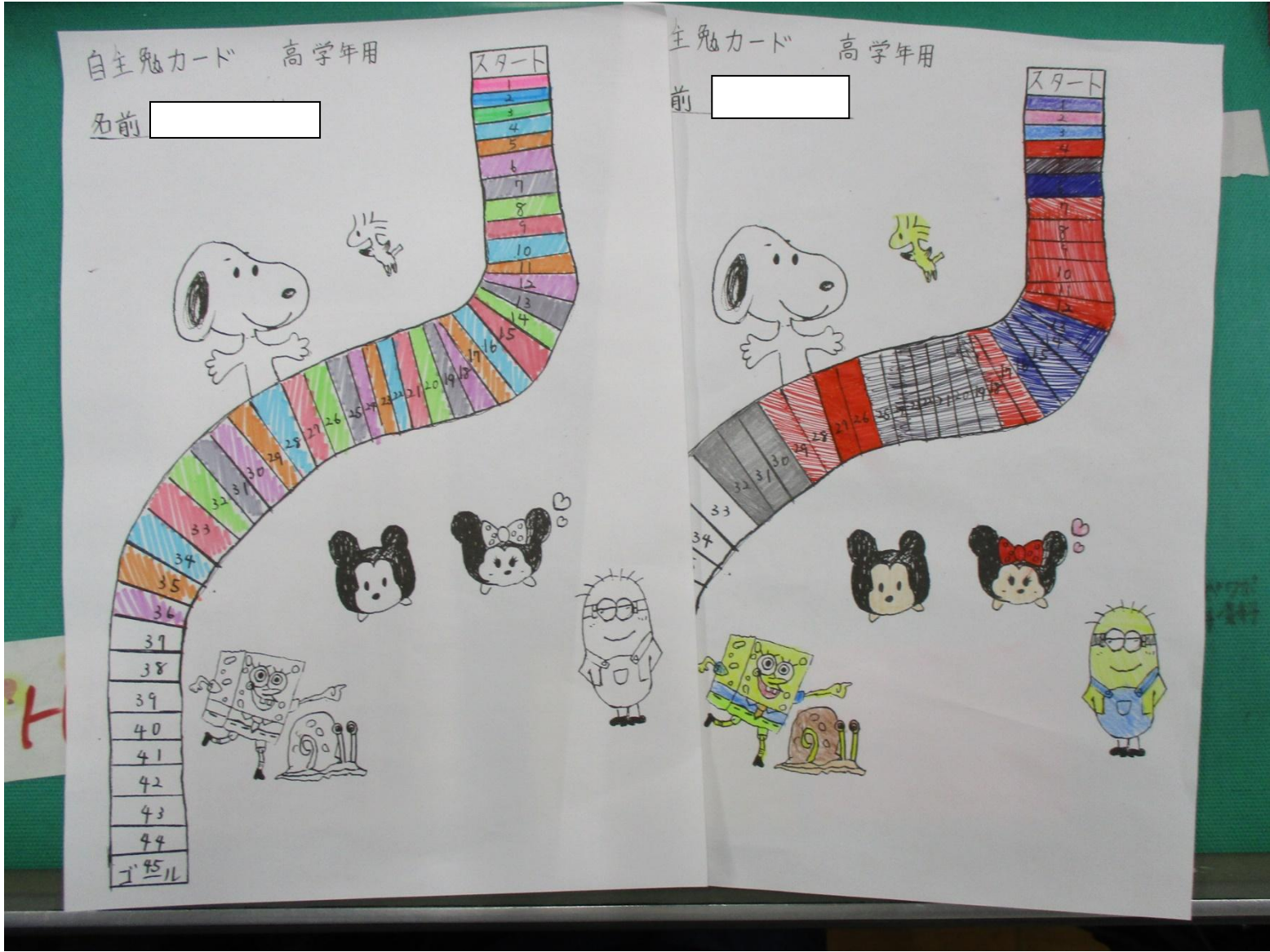
【資料を使っていない文章に、本文を根拠にして、資料を配置している様子。資料と本文を結び付ける活動を黒板で児童が行ったことで、本文を視覚的に理解することができた②。また、どこに配置するか迷う資料が存在することで、筆者の資料配置に関する意図を考えたり、効果を読み取ったりすることができるようにした④。】

図1 広島原子爆撃の瞬間と、爆撃後の広島市街地の様子（左側は爆撃前の様子、右側は爆撃後の様子）

[illegible]

【「原子爆弾」のテーマでは、教科書の資料「平和のとりでを築く」に加えて、司書の先生に依頼して集めた書籍、教師が集めた新聞記事や広島平和記念公園などで撮った写真などの資料を用意した。「西日本豪雨災害」のテーマでは、教師が集めた新聞記事を用意し、2つのテーマから、書く事柄を自分で選択できるようにした。】

○運営委員会の児童が作成した「自主勉強がんばりカード」



○テニスボールを利用した脚カバーによる防音



○右側歩行の視覚的支援となるラインのペンキ塗り



○理科室 写真による保管場所の構造化

